

平成16年度公共事業再評価対象事業調査

1 事業の概要

事業名	街路事業 大原通	事業所管課	京都市建設局 街路部街路建設課
事業区間	自：左京区上高野北川原町（三宅橋） 至：左京区八瀬野瀬町（旧八瀬遊園）	延長又は面積	延長 1, 114 m 幅員 12 m
事業概要 本路線は、市街地東北部から八瀬、大原地区に至る幹線道路（一般国道367号）であり、交通量が多いにも関わらず、道路幅員が狭い箇所及び歩道が整備されていない箇所がある。本事業は、歩道と十分な幅員を確保した車道を整備することにより、安全かつ円滑な道路交通の確保を図るものである。 また、本事業は、市内有数の観光地である大原地区への交通渋滞解消の効果も有しており、更には、滋賀方面との広域的な道路ネットワークの強化も図るものである。 全体事業費：3,417百万円			

2 事業の必要性等に関する視点

【事業の進捗状況】

※（ ）内は、公社先行取得分

都市計画決定	昭和34年度	事業採択年度	昭和59年度	用地着手年度	昭和60年度
工事着手年度	昭和61年度	完成予定年度	当初 昭和63年度 変更 平成22年度		
年度	全体事業	平成14年度以前	平成15年度	平成16年度	平成17年度以降
工事	L= 1,114m C= 786 百万円	L= 680m C= 349 百万円	L= 0 m C= 0 百万円	L= 0 m C= 0 百万円	L= 434m C= 437 百万円
用地	A= 9,317 m ² C= 2,420 百万円	A= 3,896 m ² (54 m ²) C= 1,492 百万円 (21 百万円)	A= 0 m ² C= 0 百万円	A= 22 m ² (144 m ²) C= 6 百万円 (53 百万円)	A= 5,399 m ² C= 922 百万円
その他	測量、設計委託等 C= 211 百万円	測量、設計委託等 C= 142 百万円	測量 C= 17 百万円	測量、物件調査 C= 3 百万円	測量、設計委託等 C= 49 百万円
計	C= 3,417 百万円	C= 1,983 百万円 (21 百万円)	C= 17 百万円	C= 9 百万円 (53 百万円)	C= 1,408 百万円
進捗率 (累積)		58% (59%)	59% (59%)	59% (61%)	100%

事業の進捗状況

平成11年度（前回）再評価時対応方針

「今後、早急に未買収地の土地境界を確定し地権者の協力を得るよう努めるとともに、景観・自然環境に配慮した工法の検討を進め、早期完成に努める。」

以上の対応方針に従い、用地取得については、引き続き、境界確定作業を進め、確定が完了した箇所から用地交渉を進めている。また、工法の検討については、現計画では長大な法面工事を必要とすること及び周辺地域が歴史的風土特別保存地区に指定されたことから、景観及び自然環境に配慮した工法を検討する必要がある。このため、上高野と八瀬との字界付近の山地部と高野川との狭隘部において、河川側へ道路を拡幅するための協議を河川管理者である京都府と進めるとともに、都市計画変更に向けた事前協議を今年度から開始している。

当初計画に比べて事業が遅れた理由

- ① 現況の地形と公図が合致しないことにより、境界確定作業が難航しているため。
- ② 都市計画変更に向けた道路線形及び河川法線の決定並びに工法の決定に時間を要しているため。

【事業を巡る社会経済情勢等の変化】

道路幅員が狭いため、事業採択時は安全かつ円滑な道路交通を確保することが重視されていたが、近年はそれに加えて、景観や自然環境の保全についても重視されるようになってきており、上高野と八瀬との字界付近の山地部と高野川との狭隘部において、事業計画の見直しを行っている。

また、近年、車中心の道路整備から地域住民や観光客など歩行者の利便性と安全性に配慮した道路整備への要請が社会的に高まっており、そうした観点からも、歩道が未整備である本路線の整備に取り組む重要性が増している。